作成（2024 年度）

簡易版 TP（ティーチング・ポートフォリオ）

氏名	麻谷淳
所属機関名	工学部情報工学科
職位	准教授
在籍年	21 年

教育の責任

コンピュータ演習（1 年生）、プログラミング（2 年生）、情報工学実験（組込みシステム担当、3 年生）という 3 科目の実習・実験科目を担当し、コンピュータの使い方、プログラミングの基礎、そして、ハードウェアの実験の教育を担っている。また、講義科目では、情報通信や情報基礎に関連する、情報通信基礎論（2 年生）、情報理論（2 年生）、暗号とセキュリティ（3 年生の科目を担当している。また、ゼミでは配属された 4 年生に対して卒業研究を 1 年間かけて指導している。ゼミ生には各自が興味をあるテーマを探して自律的、積極的に研究に取組んでもらっている。大学院修士の学生も研究を進めて成果を学会で発表するように指導している。そして、修士の学生には 4 年生の卒研の相談に応じたりアドバイスをしたりして関わってもらっている。

教育の理念

卒研でゼミ生が自主的に研究テーマを探して、研究計画を立て、その計画に沿って着実に研究を進めていき結果を出すことができるように、ゼミで学生達と一緒にわいわいがやがやとにぎやかに議論をして活気が湧いてきていろいろなアイデアを生み出し、それらのアイデアを実現に向かってチャレンジできるようにサポートしていく。そして、卒業後、社会に出て活躍してほしい。自分が担当する講義を受けた学生が、情報理論や暗号理論、通信やネットワークに興味をもって、卒業後にそれらの分野で働いて実力を発揮してほしい。

教育の方法・方針

自分の担当する講義の受講生が、基礎的な知識を身につけて、また、その分野に興味を抱いて。積極的に知識や技能を身に着けるように簡単な計算や演習や実験に取り組んでもらう。情報工学の分野では日々技術が進歩していっているので、教育内容をアップデートして、身近な話題も交えることで受講生が興味をもって、受け身の姿勢ではなく、自分で興味のあった事柄を調査したり、学んだりしていくようにしてもらう。講義では復習をしたり、集中力を切らさないようにマイペースで考えながら頭の中を整理しながら学習ができるように講義資料を分かりやすく作成したり、ＶＯＤで後日講義を視聴できるようにしている。

教育の成果

授業アンケートで、講義内容に興味を持った、その分野の理解が深まったといった回答が多かったので良かった。授業アンケートの記述でプログラミングの技術が身についたというコメントもあった。卒業研究発表会で指導したゼミ生が良い発表をできるようになった。ゼミ生が、ゼミ内で議論をする中で、最初はあやふやだった卒業研究のテーマが具体化していき、試行錯誤する中で研究成果を出して卒業論文を完成させることができた。卒業生が就職した会社の人

事の担当者が来て、その卒業生が卒業後、その会社で活躍をしていると聞いた。大学院生が学会で研究成果を他の大学の先生や学生さんを相手に発表し意見を交換し、良い経験となった。
今後の目標
講義の内容を時代の変化に対応してアップデートしていく。講義で最近のニュースなどを取り上げて、受講生に講義内容に興味をもってもらう。卒業研究や大学院生の研究の指導に力を入れて、学生がいろいろなことにチャレンジをすることで成長をして卒業後に社会で活躍できるようになってほしい。
根拠資料
・授業アンケート ・講義資料